

## 神経解剖学

責任者・コーディネーター	細胞生物学分野 齋野 朝幸 教授		
担当講座・学科(分野)	細胞生物学分野、神経内科・老年科分野、脳神経外科学講座、超高磁場MRI・病態研究部門		
担当教員	齋野 朝幸 教授、寺山 靖夫 教授、小笠原 邦昭 教授、佐々木 真理 教授、中野 真人 特任講師、枅 一毅 助教、阿久津 仁美 助教、横山 拓矢 助教		
対象学年	2	区分・時間数	講義 15.0 時間
期間	前期		実習 21.0 時間

### ・学習方針（講義概要等）

社会の高齢化と複雑化に伴って認知症・脳卒中などの脳神経疾患は大きな社会問題となっている。「脳の世紀」とも呼ばれる今世紀において脳神経医学や脳イメージング技術は著しく進歩し、極めて高度化した医療が実践されているが、未解決の分野も多い。本科目では、人類が積み上げてきた神経解剖学的知見を構造と機能の両面から系統的かつ具体的に習得するとともに、その臨床的意義を理解して臨床専門科目で即戦力となる知識を身につけるため、講義と実習を行う。

### ・教育成果（アウトカム）

神経解剖学の講義で、人体の神経系の構造（脳・脊髄）および伝導路についての基本的考え方・専門用語等を理解・習得する。実習では、知識として学んだ事項を脳脊髄の実物を通して検証し、各部位の名称、神経伝導路との関連性などについて正確に把握する。これらを理解することを通じて、脳神経疾患の診断・治療に必要な神経系の解剖学的知識を総合的に習得し、医療に必要な神経内科学・脳神経外科学・整形外科学への導入基盤が形成され、医療プロフェッショナルへの到達が可能となる。  
(ディプロマ・ポリシー：2, 8)

### ・到達目標（SBO）

脳・脊髄・末梢神経の発生を成体の構造と関連づけて説明できる。  
 終脳・間脳・中脳・橋・延髄・脊髄・小脳の各部位の名称を機能と関連づけて説明できる。  
 大脳皮質の機能局在について説明できる。  
 脳の血管支配について説明できる。  
 主な感覚性伝導路について構造と関連づけて説明できる。

主な運動性伝導路について構造と関連づけて説明できる。  
 中枢神経系の神経線維連絡およびその機能を述べるができる。  
 神経内科学における神経解剖の重要性を説明できる。  
 脳神経外科学における神経解剖の重要性を説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 102 1-B 講義室  
 (矢) 西 402 4-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
7/5	水	1	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【脳・脊髄の発生、概略】
7/5	水	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【脊髄・脳幹】
7/6	木	1	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【小脳】
7/6	木	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【間脳・基底核・辺縁系】
7/10	月	1	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	【脳神経外科学と神経解剖】
7/10	月	2	神経内科・老年科分野	寺山 靖夫 教授	【神経内科学と神経解剖】
7/10	月	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【運動性伝導路】
7/10	月	4	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【感覚性伝導路】
7/11	火	1	超高磁場 MRI・病態研究部門	佐々木 真理 教授	【神経科学と放射線医学】
7/11	火	2	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【中枢神経系の組織構造】

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
----	----	----	--------	------	-----------

7/11	火	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【神経組織の観察】
7/11	火	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【神経組織の観察】
7/12	水	1	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【脳・脊髄の概略の理解】
7/12	水	2	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【脳・脊髄の概略の理解】
7/12	水	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【脊髄・脳幹の観察】
7/12	水	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【脊髄・脳幹の観察】
7/13	木	1	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【小脳の観察】
7/13	木	2	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【小脳の観察】
7/13	木	3	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	【特殊知覚の伝導路の理解】

7/13	木	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【間脳・大脳基底核・辺縁系の観察】
7/14	金	1	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【運動を支える伝導路の観察・理解1】
7/14	金	2	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【運動を支える伝導路の観察・理解2】 【知覚を支える伝導路の観察・理解1】
7/14	金	3	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	【知覚を支える伝導路の観察・理解2】
7/14	金	4	細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野 細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授 中野 真人 特任講師 枅 一毅 助教 横山 拓矢 助教 阿久津 仁美 助教	実習試験

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	解剖学講義 改訂 3 版	伊藤隆著	南山堂	2012
教	解剖実習の手びき 11 版	寺田春水、藤田恒夫著	南山堂	2004
教	カラー図解 神経解剖学講義 ノート	寺島俊雄著	金芳堂	2011
参	神経解剖カラーテキスト 第 2 版	A.R.クロスマン、D.ニアリー 著	医学書院	2008

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	カラー図解 人体の正常構造と機能 改訂第3版	坂井建雄、河原克雅編	日本医事新報社	2017
教	プラクティカル 解剖実習 脳	千田隆夫、小村一也著	丸善出版	2012
推	目で見える脳解剖－伝導路理解のために－	遠山稿二郎、佐々木真理著	橋本印刷	2011

・成績評価方法

<p>1) 実習スケッチ (10%)、2) 定期試験 (70%)、3) 実習試験 (20%) の総合で判断する。実習の欠席は重く判定する。欠席する場合、きちんとした理由がない場合認めないので理由書を提出すること。          なお、講義・実習への出席が規定の出席数に達しない場合は原則として、2) の受験資格は無い。</p>
---

・特記事項・その他

<p>脳実習に当たっての注意事項：          実習では、献体された方々の脳を使用させていただく。すなわち、医学部に与えられた法的な「特別な措置」による学習である。実習に当たっては、献体された方々に対して、礼を失することの無いよう、常に緊張感を持ち、注意を払い、一人間として恥じることの無いよう懸命に努力することを望む。不適切な行動が見られた場合は、その場で実習を中止し、退席してもらう。実習中の学習事項に無関係な「私語」はこれに当たる。実習中は白衣を着用する。また、飲食（ガムを含む）も禁止する。実習標本をデジカメなどで撮影することを禁止する。これらに従わなかった場合厳罰に処する。</p> <p>シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。          授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。</p>
---

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン 1 式 (MATE)	1	講義・実習資料作成

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	純水製造装置オートスチル	1	講義・実習資料作成
実習	解剖用具一式		実習で使用
実習	エタノール		実習標本作製
実習	手ぬぐい		実習で使用
実習	ビニール袋		実習で使用
実習	スケッチブック(A4)各自	130	実習で使用